

様式第18  
(第1片)

## 診療用高エネルギー放射線発生装置設置予定届

年 月 日

(あて先)  
一宮市保健所長

病院  
(診療所) 所在地  
名称  
管理者氏名

下記のとおり、診療用高エネルギー放射線発生装置を備えます。

記

1 診療用高エネルギー放射線発生装置に関する事項	製 作 者 名		
	型 式		
	定 格 出 力	電 子 線 エックス線	電子ボルト (MeV) Gy/分 (焦点から m)
	台 数	台	
2 診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する医師、 歯科医師又は 診療放射線技師の氏名等	氏 名	職 種	放 射 線 診 療 に 関 する 経 歴
3	予 定 使 用 開 始 時 期	年 月 日	
4 診療用高エネルギー放射線発生装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	発 生 管 容 器 の し ゃ へ い	利用線錐 <sup>すい</sup> 以外の放射線量 利用線錐 <sup>すい</sup> の1,000分の1以下・超	
	照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減するための防護措置		
	放射線発生時の自動表示装置		
	出入口開放時の発生回路を遮断するインターロック		

(第2片)

5 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	使用室の天井、床、壁、出入口の扉、窓等のしゃへい		画壁等の外側における実効線量 1mSv/週以下・超	
	出入口の数		通常出入口 箇所、非常口 箇所	
	放射線発生時自動表示装置			
	標識を付ける箇所			
6 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要	管理区域	管理区域のしゃへい	管理区域の境界における実効線量 1.3mSv/3月以下・超	
		さく等の立入制限措置		
		標識を付ける箇所		
	注意事項の揭示等	注意事項を掲示する箇所		
		敷地の境界等における防護	敷地内居住区域及び敷地の境界における実効線量250μSv/3月以下・超	
		患者の被ばく防止（診療により被ばくする放射線を除く。）	病室における実効線量 1.3mSv/3月以下・超	
		放射線診療従事者等の被ばく防止等	外部被ばくを少なくする措置有・無	
			被ばく線量測定器有・無	

添付書類

1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の平面図及び側面図

2 しゃへい計算書

記入上の注意

- (1) 管理区域を明示すること。
- (2) 照射方向、発生管から画壁等の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入すること。
- (3) 画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、診療用高エネルギー放射線発生装置の定格出力を最高値にとったときの計算値とその計算式を記入すること。  
計算責任者任者の所属、職及び氏名を記入すること。